

訪問介護ステーション 第29回 運営推進会議議事録			
日時	2025年 3月 14日 （木）		
場所	さぼてん広場		
司会	土本科長	書記	畑岡
出席者	ケアプランセンターつなぐ（高谷）、民生委員（亀上）、ウエル清光会（細川）		
	ケアハウスはなみずき施設長（長尾）、ケアプランセンターあいわ（勝永）愛和訪問看護ステーション		
	（平岩）ケアプランセンターあいわ豊中南（茶谷）、ケアプランセンター奏（大槻）		
	緑地地域包括支援センター（高井）ケアハウスはなみずき（山崎）		
1.参加者紹介 2.2024年度活動状況契約者数と訪問件数推移 ● 契約者数と訪問件数推移 今年度は9件でスタート。7月までは増減なく推移。7月中旬に1件入所。8月に新たに2件追加。 9月に1件新規追加し今年度最高契約者数となる。10月、入院と入所で2件解約。 11月に1件新規追加。12月には1件ご逝去、入所1件となり8件。 1月、2月でそれぞれ新規追加。3月は10件。 ● 訪問件数 介護は月平均371件、昨年度比138.8% 看護は月平均31件昨年度比92.7% ● 契約者述べ件数の推移 2020年から2024年までの5年間の延べ契約者数を比較。 2021年に利用者がご逝去や入所などで減少その後は少しずつ増加。 看護ありの契約者数は常に半数以上と持病があったり、薬管理や便コントロール、ストマ管理などで必要とされることが多いという顕著な結果となる。 3.随時訪問件数と内容 介護看護合わせ年間で40回の訪問。 介護が一番多くあった内容が排便によるコールで10回。 その他は混乱しコール押される、安否確認の電話をするが不在で訪問など。 看護では発熱、带状疱疹、便秘が多く12件。 随時訪問件数は昨年度の110%となっており、便コントロールの難しさが 顕著に出た1年となった。			

4.事故報告
事故内容です。
日曜日の訪問でお薬カレンダーにセットされている薬を取り間違え、月曜日の薬を開封、開封後気が付き、利用者に謝罪。原因としては曜日の確認を怠ったことと月と日を見間違えたこと。
日曜の薬の内容を確認し、（月）と書き直して月にセット。今後の対応として薬の日付を確実に目視し、声に出して、日付を読み上げて、飲んでいただくとした。
5.業務トラブル
トイレの掃除中、汚れを落とそうとブラシで強くこすったところブラシが折れてしまった。
原因として、便を落とそうと力を入れすぎたこと、柄の部分の上の方を持ち過ぎたこと。
利用者に謝罪し、代わりの物を購入することを伝える。利用者からは「いいい」と言っていた。
対策としては、力を入れすぎない。経年劣化の可能性も考え事前にブラシ等を確認し、傷んでいるようならそれを伝えておく。
6. 事例報告
パワーポイント資料参照
7. 地域活動
・10月 ラン伴
・11月 あいわの集い
・12月 フットサル交流会
・2月 大規模災害訓練in宝塚
8. 地域交流委員会の活動
・子育て支援うりぼー：毎月第3木曜日に開催
・こども食堂 愛和会こどもひろば：毎月第4火曜に開催
・ほっと愛カフェ：第3木曜に開催
・愛和会まごころ弁当：毎週火曜
9. 今後の課題
・定期巡回導入前から訪問看護や訪問リハビリを利用されている場合、定期巡回の利用時に看護やリハビリの事業所が変更となるためどのように理解していただくかが課題となることが多いためどういった動きをしていくか検討が急務である。
看護が医療で入る場合、介護の「看護なし」で定期巡回サービスを利用することが可能であるが、MCSやザイルなど利用していない看護事業所の場合、医師と看護、介護の連携が取り辛く課題となっている。

[illegible]